

市民フォーラム21 第11回防災部会 会議録(要旨)

日時 平成18年8月29日(火)午後1時30分から

場所 第一庁舎8階 第二委員会室

第6回総合計画審議会の報告について

事務局から説明(別添資料)

部会長

部会では報告に留めたいと思いますが、質問等があればお願いします。

無し

基本計画・指標一覧(防災・安全分野)について

事務局から説明(資料1)

部会長

1ページの「施策の指標」について、ご意見ご質問をお願いします。

部会員

施策312-02__救急・救助体制の充実の「救急現場到着時間」について、未配置分署への救急隊を配備し、5分43秒に短縮する目標値を設定しているが、現在の未配置分署はどこなのか。また、いつ頃整備されるのか、計画の展望を教えてください。

第三専門部会員

現在、救急隊が配置されていない分署は、中央消防署管内の西長野分署と篠ノ井消防署管内の氷鉋分署、塩崎分署である。この中で、氷鉋分署については、建物が老朽化していることから、現在の分署から東へ約1.5kmの場所に移設し、併せて救急隊の配置や機動的な役割を果たすための施設、装備等の整備を計画しており、平成21年度に運用を開始したいと考えている。

西長野分署については、中央消防署と比較的距離が近いことから、小田切地区(北側付近)や飯綱地区(南側付近)を視野に入れつつ、飯綱分署との協同性を図りながら配置する必要があると思われる。また、塩崎分署については、近隣の信更地区や大岡地区から出張所の設置要望が出ている中で、中山間地の部分として全市的に考えていく必要がある。西長野分署、塩崎分署については、具体的な設置年度は未定である。

部会員

目標年度である平成23年度には未配置分署がすべて無くなると思った。なるべく

早く実施して欲しい。

部会員

施策3 2 1 - 0 1__交通安全対策の推進の「交通事故による年間死亡者数」について、目標値15人を0人にしたらどうか。

第三専門部会員

第8次長野市交通安全計画では、15人という考え方を持っている。第7次では平均22人程度という数字が出ている中で、総務省の指針である対前期24%～32%程度の減に基づき計算しているものである。死亡者を出さないことが一番望ましいことではあるが、目標としては、少しでも減少させたいということで15人とした。

部会員

設定されている数字は統計上では理解できるが、目標値であるので0人でもよいと思う。

事務局

目標値の基本的な考え方としては、現状を分析した中での現実的な数値を一つの目安として掲げ、進行管理をしながら施策を展開するということをご理解いただきたい。

部会員

了承

第三専門部会員

先ほどの氷鉋分署の移設について補足説明をさせていただきたい。

氷鉋分署移設に係る事業名は、「消防機動センター・氷鉋分署整備事業」であり、現在事業を着手し、将来的には一定の救助隊や特殊車両を配備し、機動力を増強していく予定である。

その他の動きとして、本年6月に消防組織法が改正（消防本部の広域化の推進）され、その中で本部単位を管轄人口30万人に対し1本部に編成していくことが謳われている。本市は既に30万人を超えているが、30万人未満である周辺の須坂市、千曲市や更に外側にある岳南・岳北消防本部などを含めた消防の広域化の動きがあり、県では平成19年度に推進計画を策定する予定となっている。

部会員

施策3 1 2 - 0 2__救急・救助体制の充実の「救急現場到着時間」関連で、塩崎分署への救急隊の配置については、目標年度（平成23年）までにできる可能性が無いという含みでよろしいか。

部会員

塩崎分署は、消防車が救急の役割を果たす体制（赤とんぼ）をいち早く導入していただいている。

部会員

施策311-01_防災体制の整備の「地域防災マップ整備済地区数」について、ハザードマップは既に配布されているが、地域の防災マップとはどんなものなのか、説明が欲しい。

第三専門部会長

平成16年に犀川、千曲川の直轄河川の洪水ハザードマップを作成し、関係住民の皆さんに配布している。第2段階として、本年5月に県で管理している浅川、裾花川など9河川の危険箇所が県から示されたことから、洪水ハザードマップを作成する予定である。その他、市内の土砂災害危険区域についても県から示され、平成20年にかけてハザードマップを作成していく予定である。

地域の防災マップとは、前述のハザードマップの地域バージョンであり、地域ごとに地域の特性に配慮しながら避難経路や危険箇所など、より詳細な情報をマップで示していくものである。この地域の防災マップをすべての自主防災組織（自治会）で作成していただきたいが、目標年度（平成23年）までに60地区程度は作成していただけないかと予測し目標値を設定した。

部会員

現に水が出ている、土砂が崩れている箇所があるが、この実態と目標値（60地区）は整合性があるのか。

第三専門部会長

災害になっている所は復旧しなくてはならないし、地域の防災マップは災害を想定した中での備えの一つであるので分けて考えたい。

部会員

地域防災マップを作成する上で、必要条件等を提示していただく必要があると思う。

第三専門部会長

災害時の人命を第一に考え、避難場所へ向かうための経路を落とし込むことから始めることになると思う。

部会員

避難路の確認・確保ということでよいか。

第三専門部会長

はい。そのために避難場所の周知や災害時の要援護者の救出方法なども考えていただきたい。

部会員

地域防災マップを作成する上で、行政から情報提供などの支援をしていただけないか、仕組みがよく分からない。

第三専門部会長

市で作成するハザードマップを基に、気象変動に伴い各地域でどのような災害が想定されるか、できるだけ細かな情報を提供していきたいと思っている。

部会員

地域防災マップは、あくまでも自主防災組織（自治会）のエリアの中の住民が情報を共有するものと捉えてよいのか。

第三専門部会長

はい。

部会員

都市内分権の住民自治協議会との関係はどうなるのか。

事務局

自主的に住民自治協議会を設立していただき、地域特性に合わせた地域のまちづくりを進めていくという都市内分権の考え方の中で、地域における防災や福祉が大きなウエイトを占めているのではないかと思う。

地域防災マップの作成については、基本的には都市内分権の中で進めている住民自治協議会が追っていくものと考えている。

部会員

目標値は、ある程度連動した上で算定したのか。

第三専門部会長

住民自治協議会の設立を想定しながら算定したが、できればもう少し増やしたい思いはある。当初は行政区単位（30地区）での作成を考えたが、より細かな自治会単位（511地区）の方が妥当であると判断し、511地区に対し60地区の目標値を設定した。

部会員

地域においては、自ら実施する馬力さえあればよいわけで、行政は実施するための仕組みや方法など、進め方を示していくことが必要である。それがあれば、各地域で立ち上げができると思う。

部会員

施策311-01_防災体制の整備の「自主防災訓練の実施率」の現況が82%であり、18%の地区がなぜ実施しないのかを分析する必要があると思う。自主防災訓練を実施しない地区が防災マップを作ることは難しいと思う。

第三専門部会長

県からの土砂災害危険区域情報がスムーズに流れてきた場合を想定し、平成20年度から防災マップの作成が可能となり、目標値を60地区としている。「目標値が低いのではないか」というお考えもあろうかと思うが、この目標値を基本として、少しでも

多くの地区で作成していただけるよう努力していきたい。

部会長

3ページの「基本施策の指標」について、ご意見ご質問をお願いします。

部会員

回答形式はどうなるのか。

事務局

回答形式は、「思う」、「少し思う」、「あまり思わない」、「思わない」、「どちらでもない」の五択で考えている。また、資料でお示ししている表現は、質問項目の内容であるので、実際のアンケートではお尋ねする表現に替えて実施する予定である。

基本計画・素案（防災・安全分野）について

事務局から説明（資料2）

部会長

防災分野の2ページから4ページについて、ご意見ご質問をお願いします。

部会員

施策311-02「治山・治水対策の推進」（4ページ）の主な取組の4つ目の項目について、「雨水貯留施設の一般住宅等への設置」とあるが、一般住宅にも穴を掘って水を貯めるといふことか。

第三専門部会員

雨水各戸貯留ということで、各家庭に200ℓタンクや500ℓタンクを設置する場合に補助金を交付する事業のことである。

部会員

現在実施しているのか。

第三専門部会員

平成14年度から事業を開始し、現在660件の方に設置いただいている。

部会長

消防分野の5ページから7ページについて、ご意見ご質問をお願いします。

部会員

施策312-01「消防体制の充実」（6ページ）の主な取組の5つ目の項目について、「更なる広域化を周辺市町村と共に促進します。」とあるが、更にどこまで広がるのか。

第三専門部会員

現況については、合併前の旧10カ町村から委託を受けて消防業務を担当している。今後、現況より外枠の千曲市、坂城町、須坂市、小布施町、高山村を含めた長野広域

連合の枠内に消防分野が入ったらどうなるのか、検討している。それから先は全く未定であるが、先ほど申し上げたとおり、岳南・岳北消防本部についても県が推進計画を策定する中で視野に入れていく必要があると思う。

部会長

安全分野の 8 ページから 11 ページについて、ご意見ご質問をお願いします。

無し

その他（行政経営分野について）

事務局から説明（資料 3）

部会長

全体を通してご意見ご質問をお願いします。

部会員

基本施策 021 「住民自治の推進」（4 ページ）の指標項目の「地域のまちづくりに参加したいと思う市民の割合」に違和感がある。例えば「地域のまちづくりが十分と感じている…」のようにもう少し工夫していただきたい。

基本施策 051 「市民の満足が得られる市役所の実現」（13 ページ）の指標項目について、「市職員の対応やサービスに好感を感じている市民の割合」は文章として少し変だと思うので検討していただきたい。

事務局

今後精査をさせていただき、アンケート指標項目にふさわしい文言にしていきたい。

部会員

施策 041 - 03 「健全な財政運営の実現」（12 ページ）の指標項目（実質公債比率、経常収支比率、財政調整のための基金残高）がよく分からないので補足説明をしていただきたい。また、施策 051 - 02 「市民とともに行動する人材の育成と活用」（14 ページ）の指標項目（1 年間に専門研修・自主研修等に参加した職員の率、人事評価制度における能力評価の平均点数）もどんな数字なのか分からないので教えていただきたい。

事務局

行政経営分野では、どうしても内部的な指標が多くなってしまふことは事実であると思う。ご指摘いただいた指標項目の「人事評価制度における能力評価の平均点数」は違う指標に差し替えたいと考えている。

部会員

前回は申し上げたが、施策 041 - 02 「民間活力の活用」（11 ページ）の施策の

目標の中に「民間の経営感覚」という文言があるが、例えば、「民間経営の発想」のような表現に替えた方が分かりやすいと思う。

事務局

内部的に様々な議論があり、表現を工夫していきたい。

全体を通して（事務局）

防災・安全分野の指標や素案については、特段修正事項等のご意見が無く、概ねご了承いただいたということで、原案化していきたいと考えている。なお、細かな修正がある場合は、次回の作業部会でお示す中でご確認いただきたい。なお、本日お示しした指標や素案についてご意見等があれば、今週中に事務局までお寄せいただきたい。

以上